

新宮市立医療センター改革プラン点検・評価について

平成 24 年度の状況、平成 25 年度の見込みについて、下記のとおりご報告いたします。

1. 経営の効率化について

経営の効率化については平成 23 年度に経常収支の黒字化を達成しており、目標は達成していますが、決算状況について下記のとおり報告いたします。

① 平成 24 年度について

収益面は、診療報酬のプラス改定、循環器科の積極的な患者の受け入れや、最新式循環器用血管撮影装置の導入、最新式 3 テスラ MR I 装置の導入による集客力効果もあり、入院患者数については、昨年度に比べ 1,967 人増加し、入院患者 1 人あたりの単価も 2,136 円増加しました。外来患者数も、循環器科、整形外科を中心に 4,771 人増加し、外来患者 1 人あたりの単価も 646 円増加しました。この結果、事業収益では 68 億 2 千万円となり、平成 23 年度に比べ約 4 億 5 百万円の大幅増となりました。

また、費用面では、医師数の増加等に伴い給与費が約 1 億 2 千万円増加したことや、患者数の増加に伴う薬品、診療材料等の材料費が昨年度に比べ約 9 千万円増加したこと等により、事業費用では 66 億 6 千万円となり、平成 23 年度に比べ約 2 億 9 千万円増加しました。

これにより経常損益は昨年度に比べ約 1 億 2 千万円改善され、平成 13 年度の医療センター開業以来の最高益となる 1 億 6 千 4 百万円の黒字決算となりました。

② 平成 25 年度以降の見込について

平成 25 年度について、収益面では循環器科等の医師の減少やリニアック(がん治療装置)の更新に伴う診療制限等により患者数が減少する見込みですが、費用面では患者数の減少に伴い使用する材料についても減少するものの、職員の定年・勸奨退職者の増加による給与費の増や、平成 24 年度に導入した MR I などの高額医療機器の減価償却の開始により、結果的に費用全体では昨年度とほぼ同額程度を見込んでいます。

これにより平成 25 年 12 月末時点の決算見込は、事業収益が昨年度に比べ 2 億 9 千万円減の 65 億 3 千万円、事業費用が昨年度とほぼ同額の 66 億 3 千万円と見込んだ結果、経常損益は約 9960 万円の赤字となる見込みです。

また、平成 26 年度には、公営企業会計基準改正が 46 年ぶりに実施され退職給付引当金の計上義務化される等により、費用の大幅増加が予想されることに加え、消費税増税、診療報酬実質マイナス 1.26%改定によるマイナス要素等により、公立病院を取り巻く環境は厳しい状況が続きますが、今後も国の施策の動向を注視しながら、最善と思われる制度を利用することで費用対効果の向上に努め、健全な病院経営を目指します。

2. 再編ネットワーク化について

再編ネットワーク化については、新宮市立医療センター改革プランにおいて、地域医療支援病院の承認、地域連携パスの策定、診療体制の連携協力により、医療機関がそれぞれ担う役割分担を明確にし、新宮保健医療圏域と三重県南部も含めた公立病院間でネットワーク化を進めていくことと定めています。

このうち、地域医療支援病院については平成23年7月に承認を得ており、更に和歌山県がん診療連携推進病院にも指定されました。これらに伴い、現在は地域における救急医療の提供、開放病床による医療機器の共同利用の実施、地域の医療従事者に対する研修の実施等に取り組んでいます。

また、診療体制の連携についても、地域の医療機関や診療所との紹介及び逆紹介により医療連携を密にして、急性期医療に特化した医療を提供しています。

地域連携パスについては、新宮保健医療圏内の医療機関で治療内容のメニュー化することで統一化を図るもので、脳卒中、心筋梗塞及び大腿骨頸部骨折の治療内容についてのパスを作成しています。

3. 経営形態の見直しについて

上記については、新宮市立医療センター改革プランにおいて、平成25年度で経営目標が達成されない場合は地方公営企業法全部適用への方向転換も検討すると定めていますが、収支の黒字化（経常収支比率100%）については平成23年度に達成しており、経営形態の見直しについても、経営目標の達成により見直す必要がないことから、プラン上は達成したことになります。

しかし、激動する医療環境において、現状に則した経営形態を模索することは、安定的な医療の提供を行うための健全経営を考える上では欠かすことが出来ない大きな課題であり、今後も最適な経営を行うための体制づくりについての議論を続けていきます。

このような厳しい状況ではありますが、紀南地方の中核病院としての役割を果たすため、質の高い医療環境や健全な経営状況を保ち、地域の患者さんから頼られる病院づくりを目指して行きます。